



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社インプレスホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 9479 URL <https://www.impressholdings.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松本 大輔
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役副社長 (氏名) 山手 章弘 (TEL) 03-6837-5000(代)
 四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,038	△2.9	△370	—	△333	—	△371	—
2023年3月期第2四半期	7,247	3.8	179	△65.2	213	△61.4	147	△75.6

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 △371百万円(—%) 2023年3月期第2四半期 163百万円(△71.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	△10.99	—
2023年3月期第2四半期	4.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	15,584	9,116	57.6
2023年3月期	15,944	9,654	59.6

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 8,974百万円 2023年3月期 9,505百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,500	2.2	150	△61.2	250	△49.4	100	△73.4	2.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P.10「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期2Q	37,371,500株	2023年3月期	37,371,500株
2024年3月期2Q	3,532,752株	2023年3月期	3,540,159株
2024年3月期2Q	33,833,759株	2023年3月期2Q	33,602,849株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	11
(セグメント情報等)	12
(収益認識関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、事業セグメント区分及び主要な関係会社の異動は以下のとおりであります。

その他セグメントの株式会社iDMPは、2023年4月に株式会社クリエイターズギルド(現株式会社インプレス・デジタル・バリューズ)へ吸収合併されたことに伴い、連結の範囲から除外しております。

事業セグメント区分	主要な事業区分		主要な事業内容	主要な会社
IT (IT分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス、ターゲットメディア等	㈱インプレス ㈱IAD
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		出版流通プラットフォームの開発・運営等	
音楽 (音楽分野に関するコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱リットーミュージック
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作	
	プラットフォーム事業		ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営等	
デザイン (デザイン分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱エムディエヌコーポレーション
山岳・自然 (山岳・自然分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱山と溪谷社 ㈱原の小屋
		ソリューション	企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、宿泊サービスの提供	
航空・鉄道 (航空・鉄道分野に関するコンテンツ事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	出版・電子出版、ネットメディア・サービス等	イカロス出版㈱ ㈱天夢人
		ソリューション	パートワーク等の受託制作	
モバイルサービス (モバイル関連のコンテンツ事業及びプラットフォーム事業)	コンテンツ事業	メディア &サービス	電子出版、ネットメディア・サービス等	㈱ICE
		ソリューション	電子書籍ファイルの受託制作	
	プラットフォーム事業		電子コミックプラットフォームの開発・運営等	
その他			出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営、グループ各社の出版物流・販売管理等	㈱近代科学社 ㈱PUBFUN ㈱インプレス・デジタル・バリューズ ㈱シフカ ㈱IPGネットワーク Impress Business Development(同)
全社			グループ経営・財務戦略の策定 グループ各社の経営管理	㈱インプレスホールディングス(当社)

(当第2四半期連結累計期間の業績全般の概況)

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものです。

また、文中の事業区分別売上高は、外部顧客への売上高を、事業セグメントの売上高は、セグメント間の内部振替高を含んだ売上高をそれぞれ記載し、セグメント損益は、営業損益をベースとしております。

当第2四半期連結会計期間（3ヶ月）は、ほぼ前年同期並みの売上高となりましたが、累計期間（6ヶ月）につきましては、第1四半期のコンテンツ事業の減収が響き、減収となりました。事業区分別では、シフカの業績を取り込んだことにより、ソリューション事業が増収、ネットメディアの広告収入等は回復傾向となりましたが、出版・電子出版で、電子書籍の減収及び既刊書籍の出荷減・返品増の傾向が続いていることに加え、新型コロナウイルス感染症を契機とした市場成長に陰りが見え始めたターゲットメディアは、ターゲット広告及びイベント収入が弱含みな展開となり、コンテンツ事業の売上高は前年同期（5,889百万円）に比べ2.2%減少し、5,756百万円となりました。プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業において、主力サービスの取扱は堅調な推移を維持しているものの、一部サービスが終了となった影響等で、売上高が前期（1,358百万円）に比べ5.6%減少し、1,281百万円となりました。

これらの結果、売上高は、前年同期（7,247百万円）に比べ2.9%（208百万円）減少し、7,038百万円となりました。営業利益につきましては、減収とコンテンツ事業等の収益性の悪化に加えて、前期刊行した商品力の弱い書籍を中心に返品が増加し前年同期に比べて在庫の調整が大きく進んだことで売上原価が増加、また販売管理費は報酬水準の引き上げと中期成長投資の増加等により増加傾向となったことで、前年同期（179百万円）に比べ利益が549百万円減少し、370百万円の損失となりました。経常利益につきましては、前年同期（213百万円）に比べ利益が546百万円減少し、333百万円の損失となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、前年同期（147百万円）に比べ利益が518百万円減少し、371百万円の損失となりました。

(セグメント別の概況)

① IT

ITセグメントの売上高につきましては、ChatGPT関連の新刊書籍が大きなヒットとなったものの、既刊書籍の出荷減少により、出版・電子出版は前年同期（1,305百万円）と同水準の1,303百万円となりました。また、ネットメディア・サービスは、デジタル総合ニュースサービス「Impress Watch」(<https://www.watch.impress.co.jp/>)において、ネットワーク広告の単価下落の一巡とアフィリエイトの好調な推移で回復傾向となったことで、第1四半期の減収を概ねカバーし、前年同期（748百万円）に比べ0.8%減少し742百万円となりました。ターゲットメディアは、市場成長に陰りが見え始めたことで、ターゲット広告の減収傾向が継続していることに加え、イベント収入の規模が縮小傾向となり、前年同期（591百万円）に比べ17.3%減少し489百万円となりました。ソリューション事業においては、国内及び海外受託案件が堅調に推移し、前年同期（177百万円）に比べ10.4%増加し195百万円となりました。これらの結果、コンテンツ事業の売上高は前年同期（2,823百万円）に比べ3.2%減少し、2,731百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、パートナー出版社の電子出版及び書籍の販売が堅調に推移し、売上高は前年同期（130百万円）に比べ5.6%増加し138百万円となりました。

以上により、「IT」の売上高は、前年同期（2,970百万円）比2.9%減の2,885百万円となりました。セグメント利益は、減収と収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（459百万円）と比べ利益が288百万円減少し、171百万円となりました。

② 音楽

音楽セグメントの売上高につきましては、書籍の刊行点数が減少したものの、音楽アーティスト関連のムック本が好調に推移したことに加え、ライブイベント等が活性化中、アーティスト関連の受託案件が拡大し、コンテンツ事業の売上高は前年同期（661百万円）に比べ11.4%増加し、736百万円となりました。

また、プラットフォーム事業につきましては、楽器マーケットプレイス「デジマート」（<https://www.digimart.net/>）における楽器店からの決済サービス収入が増加したものの、パートナー出版社の販売が減少したことにより、売上高は前期（235百万円）に比べ8.9%減少し、214百万円となりました。

以上により、「音楽」の売上高は、前年同期（899百万円）比5.7%増の950百万円となりました。セグメント利益は、増収したものの収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（72百万円の損失）と比べ損失が20百万円増加し、92百万円の損失となりました。

③ デザイン

デザインセグメントの売上高につきましては、海外著作権収入が好調に推移したものの、既刊書籍の返品増加及び新刊書籍や季節商品の刊行点数減少等により、コンテンツ事業は大幅な減収となりました。

以上により、「デザイン」の売上高は、前年同期（483百万円）比21.6%減の379百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費は減少したものの減収と収益性の悪化により、前年同期（43百万円の損失）と比べ損失が60百万円増加し、103百万円の損失となりました。

④ 山岳・自然

山岳・自然セグメントの売上高につきましては、既刊書籍の減収があったものの、新刊書籍の売行き改善及びカレンダーの価格の引き上げと堅調な出荷等により、出版事業が堅調に推移したことに加え、観光需要等の回復を背景に自治体等の受託案件が増加した結果、コンテンツ事業は増収となりました。

以上により、「山岳・自然」の売上高は、前年同期（861百万円）比3.8%増の894百万円となりました。セグメント利益では、増収となったものの収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（26百万円の利益）と比べ利益が35百万円減少し、8百万円の損失となりました。

⑤ 航空・鉄道

航空・鉄道セグメントの売上高につきましては、雑誌・ムックは刊行点数の絞り込みにより減収となったものの、電子出版の投入タイトルの増加等による増収に加え、書籍強化の方針に沿って刊行点数を拡大、既刊書籍の販売も堅調に推移したことで、コンテンツ事業は増収となりました。

以上により、「航空・鉄道」の売上高は、前年同期（640百万円）比2.4%増の655百万円となりました。セグメント利益では、増収したものの収益性の低下に加えて販売管理費が増加したことにより、前年同期（76百万円の損失）と比べ52百万円損失が増加し、129百万円の損失となりました。

⑥ モバイルサービス

モバイルサービスの売上高につきましては、電子出版の販売減による減収等により、コンテンツ事業の売上高は前期（103百万円）と比べ26.0%減少し、76百万円となりました。

プラットフォーム事業につきましては、コンテンツホルダーとの協業による電子コミックプラットフォーム事業は、主力サービスの取扱が堅調な推移を維持したものの、一部サービスの終了等により、売上高は前期（821百万円）と比べ7.8%減少し、756百万円となりました。

以上により、「モバイルサービス」の売上高は、前年同期（927百万円）比9.9%減の835百万円となりました。セグメント利益では、収益性が改善し販売管理費は減少したものの、減収により、前年同期（198百万円）と比べ11百万円減少し、187百万円となりました。

⑦ その他

その他セグメントにつきましては、国内受託案件の減収があったものの、シフカの業績を取り込んだことによる増収等により、売上高は前年同期（665百万円）比20.5%増加の801百万円となりました。セグメント利益では、増収に加えて収益性が改善したもののプラットフォーム事業の新規開発に関わる投資の増加等により、前年同期（3百万円の損失）と比べ90百万円損失が増加し、93百万円の損失となりました。

⑧ 全社

全社区分につきましては、純粹持株会社である当社のみが属しており、グループ会社からの配当、情報システム等の経営インフラ使用料の手数料収入や経営管理業務の受託を売上高として計上し、経営インフラ等の運営に係る費用を負担しております。

全社区分の売上高は、グループ会社からの配当収入の減少等により、前年同期（1,072百万円）比13.5%減の927百万円となりました。セグメント利益では、販売管理費が減少したものの、減収により、前年同期（94百万円）と比べ47百万円減少し、47百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の資産につきましては、季節的変動要因による受取手形、売掛金及び契約資産の増加があったものの、配当金の支払いに加えて四半期純損失となったこと等で現金及び預金が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ360百万円減少し15,584百万円となりました。

負債につきましては、季節的変動要因による仕入債務や返金負債の増加等により、177百万円増加し6,467百万円となりました。

純資産につきましては、配当金の支払いによる減少に加えて、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等により、538百万円減少し9,116百万円となりました。

自己資本は8,974百万円となり、自己資本比率は57.6%と前連結会計年度末（59.6%）と比べ2.0ポイントの減少となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況につきましては、法人税等の還付511百万円や季節的変動要因による返金負債の増加141百万円による資金の増加があったものの、税金等調整前四半期純損失333百万円の計上、季節的変動要因による売上債権の増加389百万円及び棚卸資産の増加231百万円等により資金の減少となり、営業活動によるキャッシュ・フローは38百万円の支出となっております。（前年同期比279百万円支出の増加）

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出147百万円や投資有価証券の取得による支出100百万円等により、248百万円の支出となっております。（前年同期比210百万円支出の増加）

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の圧縮により46百万円の資金が減少し、加えて配当金の支払168百万円等により、218百万円の支出となっております。（前年同期比63百万円支出の減少）

以上により、当第2四半期連結会計期間末の資金残高は、前年同期末と比べ504百万円資金が減少し、5,478百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2023年8月10日付で、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想を修正しております。

第2四半期連結会計期間の動向につきましては、ネットメディアの広告等が回復傾向となりましたが、既刊書籍の出荷減・返品増の傾向が想定を上回ったことなどを要因に、売上は予測を若干下回る動向となりました。また、前期刊行した商品力の弱い書籍を中心に返品が増加し、前年同期に比べて在庫の調整が大きく進んだことによる売上原価増で、第2四半期連結累計期間の営業損失は、予想に対して損失が120百万円拡大する実績となりました。

通期の業績見通しにつきましては、電子書籍の販売不振、既刊書籍の出荷・返品動向やターゲットメディアの市況の変化等のリスクを認識しておりますが、上半期で大きな在庫調整が一巡したこと、投資予算の圧縮や原価及び販管費等のコスト削減の徹底、新刊の刊行遅れの挽回や回復傾向となったネットメディアの広告等によるリカバリー施策の実施を予定しており、現時点では通期業績予想に変更はなく、据え置きといたします。

※ 業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社で判断したものであり、さまざまな不確定要素が含まれております。実際の業績につきましては、今回の予想と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,983,589	5,478,968
受取手形、売掛金及び契約資産	4,428,274	4,817,727
商品及び製品	1,307,848	1,377,084
仕掛品	214,582	377,216
返品資産	278,114	212,604
その他	1,179,336	638,386
貸倒引当金	△621	△627
流動資産合計	13,391,123	12,901,359
固定資産		
有形固定資産	446,017	448,273
無形固定資産		
ソフトウェア	269,841	311,257
のれん	127,804	111,828
その他	14,969	14,957
無形固定資産合計	412,615	438,043
投資その他の資産		
投資有価証券	749,759	851,532
繰延税金資産	472,448	472,470
その他	472,452	472,417
投資その他の資産合計	1,694,661	1,796,419
固定資産合計	2,553,293	2,682,736
資産合計	15,944,417	15,584,095
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,632,631	1,788,154
短期借入金	350,000	350,000
1年内返済予定の長期借入金	103,125	140,625
未払法人税等	82,800	61,946
返金負債	547,316	689,301
賞与引当金	143,000	134,705
役員賞与引当金	—	14,845
その他	1,565,022	1,478,448
流動負債合計	4,423,895	4,658,026
固定負債		
長期借入金	184,375	100,000
退職給付に係る負債	1,564,340	1,607,465
長期未払金	62,536	49,854
その他	55,148	52,643
固定負債合計	1,866,400	1,809,963
負債合計	6,290,296	6,467,990

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,341,021	5,341,021
資本剰余金	1,683,480	1,684,366
利益剰余金	3,149,549	2,608,607
自己株式	△631,364	△629,303
株主資本合計	9,542,686	9,004,691
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△212	1,866
退職給付に係る調整累計額	△36,662	△31,629
その他の包括利益累計額合計	△36,875	△29,763
非支配株主持分	148,310	141,177
純資産合計	9,654,121	9,116,105
負債純資産合計	15,944,417	15,584,095

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,247,169	7,038,669
売上原価	4,535,840	4,676,611
売上総利益	2,711,328	2,362,057
販売費及び一般管理費	2,531,663	2,732,148
営業利益又は営業損失(△)	179,665	△370,090
営業外収益		
受取利息	8	8
受取配当金	1,169	1,388
持分法による投資利益	23,542	31,890
為替差益	2,197	371
その他	9,060	5,983
営業外収益合計	35,978	39,642
営業外費用		
支払利息	2,349	2,390
投資有価証券評価損	—	516
その他	86	8
営業外費用合計	2,435	2,914
経常利益又は経常損失(△)	213,207	△333,363
特別利益		
段階取得に係る差益	21,415	—
負ののれん発生益	7,665	—
特別利益合計	29,081	—
特別損失		
固定資産除却損	2,528	—
特別損失合計	2,528	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	239,760	△333,363
法人税、住民税及び事業税	89,300	46,155
法人税等調整額	270	△600
法人税等合計	89,570	45,555
四半期純利益又は四半期純損失(△)	150,189	△378,918
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	3,023	△7,133
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	147,166	△371,785

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	150,189	△378,918
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	837	2,079
退職給付に係る調整額	12,920	5,032
その他の包括利益合計	13,758	7,112
四半期包括利益	163,947	△371,806
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	160,924	△364,673
非支配株主に係る四半期包括利益	3,023	△7,133

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	239,760	△333,363
減価償却費	70,154	81,558
のれん償却額	15,975	15,975
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	47,419	43,125
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	14,249	5,665
賞与引当金の増減額(△は減少)	△122,863	△8,294
返金負債の増減額(△は減少)	169,822	141,985
貸倒引当金の増減額(△は減少)	237	6
負ののれん発生益	△7,665	—
段階取得に係る差損益(△は益)	△21,415	—
受取利息及び受取配当金	△1,178	△1,396
支払利息	2,349	2,390
持分法による投資損益(△は益)	△23,542	△31,890
売上債権の増減額(△は増加)	△45,245	△389,453
棚卸資産の増減額(△は増加)	△294,381	△231,869
返品資産の増減額(△は増加)	38,260	65,510
仕入債務の増減額(△は減少)	△8,997	△1,029
固定資産除却損	2,528	—
その他	△26,828	199,792
小計	48,638	△441,288
利息及び配当金の受取額	25,733	33,323
利息の支払額	△2,350	△2,208
法人税等の還付額	381,727	511,669
法人税等の支払額	△212,437	△139,523
営業活動によるキャッシュ・フロー	241,311	△38,026
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△10,965	△52,378
無形固定資産の取得による支出	△76,886	△95,613
投資有価証券の取得による支出	△300	△100,300
敷金及び保証金の解約による収入	20,107	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	27,408	—
その他	3,040	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△37,596	△248,290
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△62,500	△46,875
自己株式の取得による支出	△405	△422
配当金の支払額	△216,619	△168,500
その他	△2,460	△2,505
財務活動によるキャッシュ・フロー	△281,985	△218,303
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△78,270	△504,620
現金及び現金同等物の期首残高	6,316,829	5,983,589
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,238,558	5,478,968

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注)1	調整額 (注)3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注)2
	IT	音楽	デザイン	山岳・自然	航空・鉄道	モバイル サービス	計			
売上高										
コンテンツ事業	2,823,188	661,363	473,927	854,384	633,723	103,187	5,549,775	339,340	—	5,889,115
メディア& サービス事業	2,645,825	589,462	473,927	815,198	608,374	68,445	5,201,235	111,837	—	5,313,072
出版・電子出版	1,305,239	533,829	464,827	779,321	598,872	68,445	3,750,536	111,425	—	3,861,961
ネットメディア ・サービス	748,641	55,632	9,100	35,877	9,502	—	858,754	411	—	859,166
ターゲット メディア	591,944	—	—	—	—	—	591,944	—	—	591,944
ソリューション 事業	177,362	71,900	—	39,186	25,348	34,741	348,539	227,502	—	576,042
プラットフォーム 事業	130,751	235,026	—	—	—	821,034	1,186,812	171,241	—	1,358,053
顧客との契約から 生じる収益	2,953,939	896,389	473,927	854,384	633,723	924,221	6,736,587	510,581	—	7,247,169
外部顧客への売上高	2,953,939	896,389	473,927	854,384	633,723	924,221	6,736,587	510,581	—	7,247,169
セグメント間の内部売 上高又は振替高	16,986	2,632	9,556	7,410	6,390	3,741	46,717	154,548	△201,265	—
計	2,970,926	899,022	483,483	861,795	640,113	927,963	6,783,304	665,130	△201,265	7,247,169
セグメント利益又は セグメント損失(△)	459,862	△72,866	△43,137	26,778	△76,820	198,247	492,062	△3,600	△308,797	179,665

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営、グループ各社の出版物流・販売管理等が含まれております。
2. セグメント利益又は損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業利益と一致しております。
3. 調整額は以下のとおりであります。
セグメント利益又は損失の調整額△308,797千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△201,265千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△928,276千円、セグメント間の営業費用の取引消去820,745千円が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(重要な負ののれん発生益)

「その他」において、株式会社シフカの発行する株式の追加取得により連結子会社としたことに伴い、7,665千円の負ののれん発生益を特別利益に計上しております。

なお、当該負ののれん発生益はセグメント利益に含まれておりません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

前第2四半期連結会計期間において、株式会社Impress Professional Worksは、グループの組織再編に伴い、全社機能を株式会社インプレスホールディングスに事業譲渡しました。譲渡した全社機能については引き続き調整額に含めております。また、株式会社Impress Professional Worksは、グループ共通の事業基盤(ビジネス・プラットフォーム)の構築・運営に特化した会社へ再編したことにより、称号を株式会社IPGネットワークに改め、「その他」に含めております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント							その他 (注) 1	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	I T	音楽	デザイン	山岳・自然	航空・鉄道	モバイル サービス	計			
売上高										
コンテンツ事業	2,731,623	736,447	368,433	887,527	649,975	76,404	5,450,411	306,436	—	5,756,848
メディア& サービス事業	2,535,858	625,472	368,433	832,971	621,785	44,843	5,029,364	68,767	—	5,098,131
出版・電子出版	1,303,285	567,961	365,585	794,461	610,967	44,843	3,687,104	57,933	—	3,745,037
ネットメディア ・サービス	742,774	57,510	2,847	38,509	10,818	—	852,461	10,833	—	863,295
ターゲット メディア	489,798	—	—	—	—	—	489,798	—	—	489,798
ソリューション 事業	195,764	110,975	—	54,556	28,189	31,561	421,047	237,669	—	658,716
プラットフォーム 事業	138,063	214,033	—	—	—	756,666	1,108,763	173,057	—	1,281,820
顧客との契約から 生じる収益	2,869,687	950,481	368,433	887,527	649,975	833,071	6,559,175	479,493	—	7,038,669
外部顧客への売上高	2,869,687	950,481	368,433	887,527	649,975	833,071	6,559,175	479,493	—	7,038,669
セグメント間の内部売 上高又は振替高	15,575	102	10,675	6,976	5,464	2,825	41,619	322,316	△363,936	—
計	2,885,262	950,584	379,108	894,503	655,439	835,896	6,600,795	801,810	△363,936	7,038,669
セグメント利益又は セグメント損失(△)	171,736	△92,972	△103,549	△8,782	△129,683	187,129	23,878	△93,640	△300,328	△370,090

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、出版・電子出版、企業・自治体向けSP・PRツール及びWebサイト等の受託制作、ECプラットフォーム・出版流通プラットフォームの開発・運営、グループ各社の出版物流・販売管理等が含まれております。

2. セグメント利益又は損失は、調整を行い、連結損益計算書の営業損失と一致しております。

3. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益又は損失の調整額△300,328千円には、セグメント間の内部売上高の取引消去△363,936千円、各報告セグメントに配賦していない全社費用△818,370千円、セグメント間の営業費用の取引消去881,977千円が含まれております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項(セグメント情報等)」に記載のとおりであります。